

令和2年4月24日

保護者各位

茨城県立多賀高等学校長 岡部 和也

茨城県立多賀高等学校の創立記念日について（お知らせ）

陽春の候 保護者の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校教育活動につきましてご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

本校は昭和28年に開校し、本年5月1日で68回目の創立記念日を迎えます。この間、保護者の皆様の温かいご指導とご支援のもとで、日々の教育活動を推進することができましたことを、心より感謝申し上げます。

創立記念日は、先人の思いを偲び、現在の生徒自身がそれに応えているかどうかを見つめ直す日ともなるよう期待するところでございます。

つきましては、保護者の皆様におかれましても趣旨をご理解いただき、この日が多賀高校への所属意識や愛着を育む機会となりますよう、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

記

1 創立記念日

5月1日（金）

2 本校の沿革

昭和20年代、現在の日立市に合併する前の旧多賀郡多賀町の人々から「多賀町に高校を建てたい」という強い要望がありました。その要望を受け、日立製作所の工場跡地を譲り受け、畑の中に残った焼け跡であった状態の荒れ地を校地とし、大久保山・諏訪山の木を売っていただいた資金を基礎財源として多賀高校の建設が始まりました。

昭和28年3月に旧木造校舎1棟ができ上がり、同年4月1日1学年4クラスの全日制普通科高校として正式に県から認可されました。

同年5月1日に開校式を行い、この日を以て創立記念日としました。

そのような事情を記した「顕彰の碑」が、現在の多目的学習館「進路ホール」脇に建てられています。このように多賀高校は、地元の人々の物心にわたる強い支えによってつくられた学校なのです。

昭和30年に校歌、昭和57年に校訓「最善を尽くして颯爽たれ」が制定され、平成14年に創立50周年式典を挙行了しました。

校訓を実践し、有意義な高校生活を送った2万人を超える卒業生が、各界で活躍しております。